

## 「マリア、エリサベトを訪ねる」

2015年04月06日

ルカによる福音書 1章39節～45節。そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶した。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです。」

マリアは天使ガブリエルから、親類の不妊の女と言われたエリサベトも懐妊していると告げられた。マリアはユダの町に住むエリサベトを訪ねた。挨拶すると、エリサベトの胎内の子が躍った。受胎6ヶ月差のある洗礼者ヨハネと主イエスが母親たちの胎内で呼応し合ったという訳である。ルカは、ヨハネとイエスの結び合った関係を描いている。エリサベトは聖霊に満たされ、声高らかにマリアを祝福する。あなたは最も祝福された女性である。あなたの胎内に宿ったイエスも祝福されている。私の主イエスの母親が私の所に訪ねてくれたことは無上の喜びである。あなたの挨拶をいただいた時、私の胎内の子も喜び踊りました。そして「主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いです」と、天使の言葉を受け入れたマリアの信仰を讃える。



岩窟の聖母 ダ・ヴィンチ

ヨハネの父ザカリアは、天使ガブリエルから老夫婦の間に子どもが産まれると聞いた時、信じられなかった。そのため、口が利けない状態になった。マリアは、同じ天使ガブリエルから受胎を告知され「神にはできないことは何一つない」と言われた時「わたしは主のはしためです。お言葉通り、この身に成りますように」と応答している。エリサベトは、神の御言葉は必ず実現すると信じたあなたは幸いですと祝福し、讃えている。

ルカは詩人である。洗礼者ヨハネと主イエスは生まれる前から関係があったと捉え、神が備えてくださった救いの出来事を壮大に、詩的に描いている。この記述から、幼子イエスとヨハネの聖画が多く描かれている。左の画は、ダ・ヴィンチの「岩窟の聖母」である。信仰は人間のリアルな生き方を問うが、同時に詩情を掻き立ててくれる。この詩情がキリスト教美術を豊かに開花させた。